

持続可能な農業の展開と農業者の支援

持続可能な農業の展開と農業者の経営安定および継続対策を実効的に進め、農業振興を図ります。特に喫緊の課題である農業後継者の育成・確保について、引き続き国や県、関係機関と連携しながら、「新規就農者育成総合対策事業」や「経営継承支援事業」により、資金や研修機会の提供、人材確保等の総合的な支援をしていきます。

- 農地利用効率化等支援交付金事業 (予算額 1,500 万円)
- 新規就農者育成総合対策事業 (予算額 9,327 万円)
- 経営継承支援事業 (予算額 300 万円)

基本目標 3 力強い産業の基盤をつくる

南陽みらい議会の開催

昨年度に引き続き、南陽みらい議会に取り組みます。有権者となる市内中高生の関心をさらに高めながら、課題解決に向け、みらい議員一人一人が多様なアイデアを出し合い、議論を重ね、具体的な実践につなげることで、将来を担う人材の育成を図ります。

- 南陽みらい議会開催事業 (予算額 100 万円)

宮内公民館 (宮内地区交流センター) の建設

宮内地区の地域づくりや人づくり、住民相互の交流の輪が広がる社会教育活動の拠点として、エネルギー効率に優れ、車いすの方も安全で利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した人と環境に優しい公民館を整備します。令和7年度供用開始予定。

○都市構造再編集中支援事業 (宮内地区交流センター) (予算額 1 億 150 万円)



基本目標 2 地域に根ざした人材を育てる

ゼロカーボン推進協議会の設置

2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするゼロカーボン目標の実現に向け、市民・事業者・行政が一体となった南陽市ゼロカーボン推進協議会を設置し、三者が連携しながら地球温暖化対策の推進を図ります。

- 南陽市ゼロカーボン推進協議会 (予算額 9 万円)

リサイクルの推進

資源ごみの売却収入を財源とする「元気がでるまちづくり交付金事業」による環境意識の向上をはじめ、ごみ分別の周知徹底や廃小型家電回収事業等を実施し、資源リサイクルの推進とごみの減量化を推進します。

- リサイクル推進事業 (予算額 3,307 万円)

基本目標 5 自然の豊かさを守る

農業水路等長寿命化・防災減災事業

農業用ため池の決壊等を防ぐため、防災重点ため池を対象に、農業用として使用せず、管理者との協議が整ったため池を計画的に廃止し、地域防災上のリスクの軽減を図ります。

合わせて、浸水対策として、一級河川前川の溢水による浸水被害の軽減に向けて、堰の整備及び不要施設の撤去等を図ります。

- 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農業用ため池廃止 (予算額 6,300 万円) / 前川 (予算額 1,300 万円)

主な市道整備事業

市道蒲生田関口線の開通をはじめ、市道川尻線等の冠水対策、これまで冬期間は閉鎖していた市道上野新田線の通年通行を目指した改築工事などを年度内に完了し、市民の利便性向上を図ります。

市道六角町富貴田線は、全線の用地取得・物件補償を進め、令和8年度の供用開始を目指します。

- 市道冠水対策事業 (予算額 6,820 万円)
- 定置式凍結防止剤散布装置整備事業 (予算額 2,490 万円)
- 市道上野新田線外道路改築事業 (予算額 4,620 万円)
- 都市構造再編集中支援事業 (六角町富貴田線) (予算額 1 億 6,500 万円)

基本目標 4 強くてしなやかなまち・住みよいまちをつくる

インバウンド観光の再開へ

コロナ禍によって需要が落ち込んだインバウンド観光の本格再開を期す年ととらえ、地域資源の磨き上げを図るとともに、海外へのプロモーションについても、台湾を中心に、地域連携DMOなどとの広域連携を図り、継続的に実施していきます。

- 外国人観光客誘致事業 (予算額 160 万円)
- 地域連携 DMO 事業 (予算額 205 万円)

基本目標 7 発信力のあるまちづくりを進める

「南陽市自分ごと化会議」の実施

無作為抽出で選ばれた市民同士が地域課題を議論する場として、「南陽市自分ごと化会議」を開催します。政治や行政を自分ごととして捉えることで、社会への関心を高め、自分も何かしようとする「自分ごと化」の取組を通じて、まちづくりへの市民参画をさらに進めます。

- 南陽市自分ごと化会議事業 (予算額 359 万円)

ラーメン課 R & R プロジェクト

人気漫画「ラーメン大好き小泉さん」とコラボしたラーメンカードラリー等を引き続き実施し、全国に南陽市をPRするとともに、ラーメンを主役にした地域活性化を進めていきます。

- ラーメン課 R & R プロジェクト推進事業 (予算額 150 万円)



基本目標 6 人がつながりまちを育てる

持続的な社会発展を目指して つながり つどう 縁結ぶまち南陽

令和6年度 施政方針・予算 主な事業

令和6年度 一般会計予算総額

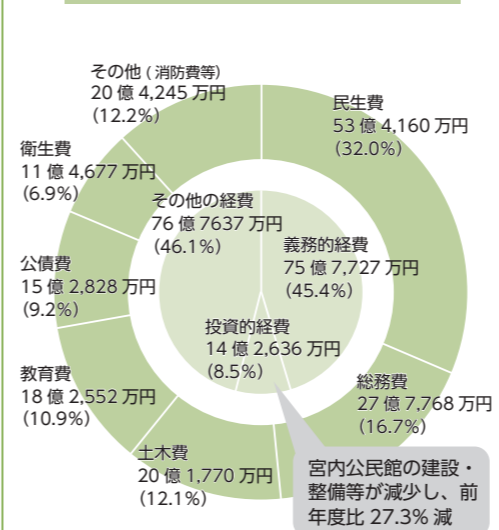
※千円以下四捨五入

166 億 8,000 万円

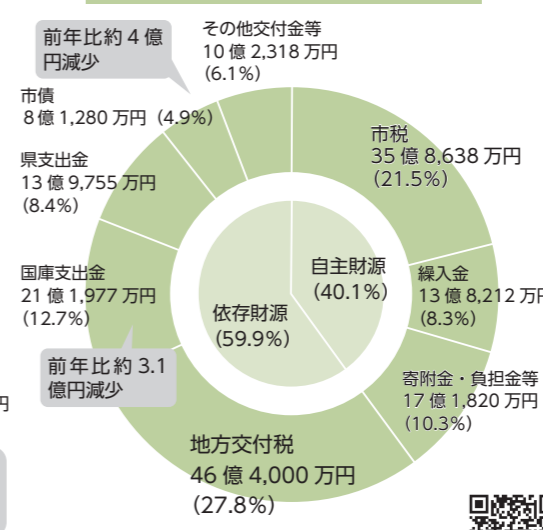
前年度比 2 億 4,200 万円の減

経常収支比率 95.1% (前年度 91.7%) / 実質公債費率 13.0% (前年度 13.3%)

一般会計の歳出



一般会計の歳入



【歳入】市税は、堅調に推移する見込みで、前年度比 1.8% の増。地方交付税は、前年度交付実績や地方財政計画などを勘案して前年度比 1.7% の増を見込みました。投資的経費の減少から、国庫支出金が前年度比 12.8% の増、市債が同 33.0% の減少となりました。

【歳出】人件費は令和5年度の給与改定や会計年度の給与改定や勤労手当の任用職員への勤め手当の支給開始により前年度比 1.2% の増。投資的経費は宮内公民館建設等の減少により前年度比 27.3% の減。物件費や維持補修費、扶助費等の一般行政費は、前年度比 2.4% の増で計上しました。

※括弧内は全体に占める割合を記載しています。当初予算について、詳しくはホームページをご覧ください▶

健幸まちづくりの推進

歩数や健康事業等への参加に応じてポイントを付与する「健幸ポイント事業」をスタートします。市民が「楽しく」「お得に」「無理せず」運動の習慣化に取り組む機運を高め、市民の健康づくりの推進、介護リスクの低減や将来の医療費・介護給付費の抑制、高齢者の外出や社会参画の促進を図ります。

また、昨年度に引き続き、一般社団法人 YAMAGATA ATHLETE LAB. (ヤマガタアスリートラボ) と連携したコンディショニング教室を実施し、市民の健やかな暮らしの実現を図ります。



- 健幸ポイント事業 (予算額 3,137 万円)
- 健幸コンディショニング事業 (予算額 1,074 万円)

基本目標 1 健やかで安心な暮らし・子育てを実現する

書かない・待たない・行かなくても済む市役所

インターネット経由で市税や上下水道料金の口座振替の申込ができるサービスを導入し、継続して「書かない・待たない・行かなくても済む市役所」の推進を図ります。

- デジタル口座振替受付サービス事業 (予算額 44 万円)

社会教育施設の LED 化

公民館や体育館、武道館等の社会教育施設の照明器具を LED 化することで、環境負荷の少ない地域づくりに向けて公共施設から率先して取り組んでいきます。

- 社会教育施設 LED 化等推進事業 (予算額 4,196 万円)

横断的目標 新たな日常(ニューノーマル)の構築